

3期生 8名を迎えました

看護師特定行為研修指導責任者 川村 佳代



近森病院は、看護師特定行為研修機関の指定を受けてから3年目となりま



▼茶話会では、1期生や2期生から
激励の言葉が贈られた



した。今年度は、男性2名、女性6名の計8名の3期生を迎え、6月2日、無事に開講式を挙行することができました。

今後、受講生は勤務しながらeラーニングで共通科目を学び、月に2日程度の集合教育として講義や演習に参加します。更に、来年1月から3月までは、区分別科目の集中講義・演習・実習を行う予定です。

仕事と研修の両立は大変であり、そのサポートへの責任と重圧を感じておりますが、皆さま方にご支援を賜りながら、専門性を発揮してチーム医療の要となり得る看護師の育成を、目指したいと思っております。

かわむら かよ



特定看護師 研修修了後の今

私たちにご連絡ください

看護師特定行為研修修了者（一期生）
近森病院 5階C病棟看護師

山本 暢明



▼新人看護師の研修講師を務めることも



ここ数年、特定看護師というワードをよく耳にするとおもうのですが、実はよく知らないという方の為に簡単にご説明します。

特定看護師とは正確には看護師特定行為研修修了者と呼びます。なぜこういった研修が始まったかというと、内閣府高齢社会白書の日本人口統計から2025年頃に国民の3.3人に一人が高齢者となることが予想され、医療シス

テムを効率化する必要があります。看護師が高度研修を経て、認可を受けた看護師が医師診療の一部（特定行為）を行なうことで2025年に対応しようとする国の政策なわけですね。現時点では全看護師の0.05%ほどしかいませんが、これからどんどん注目される資格だと思います。

医療行為を行うかどうかを判断するためには、医師並に勉強して知識を習

得し、考察できなければいけません。写真右は点滴を検討するために、心エコーでリスク評価をしているところです。現在は、得た知識を生かして新人教育など看護スタッフの質向上に努めています。また、低血糖のアセスメントも積極的に行なっていますので特定看護師のPHSまで連絡していただくとアドバイスできることも多いと思います。

しっかり問診をし、身体所見を細かくとっていると、良くお医者さんに間違われますが丁寧に説明してくれると患者さんにも喜ばれることが多いです。

やまもと のぶあき